

地域振興用周波数の有効利用のための技術的条件に関する調査検討会(第3回)
議事録 (案)

日時：平成27年10月16日(金) 14:10～15:20

場所：平内町漁業協同組合 会議室

(青森県東津軽郡平内町浅所字浅所9-56)

配布資料：

- 資料3-1 第2回調査検討会議事録案
- 資料3-2 デジタル地域振興用システム需要調査の結果
- 資料3-3 ラボ内試験の結果
- 資料3-4 実証試験の結果

1. 開会

事務局の進行で開会した。

2. 配布資料等の確認

事務局より配布資料と構成員の出席状況について確認が行われた。

3. 議事

- 深瀬座長の進行により議事が進められた。

(1) 第2回調査検討会議事録案について

資料3-1に基づき報告、了承された。

(2) デジタル地域振興用システム需要調査の結果について

資料3-2に基づき、事務局よりデジタル地域振興用システム需要調査の結果について説明が行われた。

- 8 ページに「一斉同報は災害時に必要である」との記述がある。公開実証試験で紹介されたショートメッセージの文字数は50文字程度とのことだが、もっと増やすことはできるのか。ショートメッセージとは異なる機能を利用すればもっと長い文字数にも対応できるのか。パソコン上のメッセージを自動転送するようなことも可能か。

→事務局：ロングメッセージ機能を利用すれば長い文字数にも対応できる。ショートメッセージは、無線機本体の画面上にメッセージを表示させるもので、ロングメッセージを利用すれば、無線機を外部の機器と接続し、文字数制限なく送信することもできる。メッセージはテキスト情報だが、無線機を外部機器間のデータ転送のパイプにしたり、リモコン操作に利用したりすることもできるデータとして伝送可能。

(3) ラボ内試験の結果について

資料3-3に基づき、事務局より試験結果について説明が行われた。

(4) 実証試験の結果について

資料3-4に基づき、事務局より実証試験の結果について説明が行われた。

- 11ページの都市雑音の測定について、スペアナに接続したアンテナは、実際の通信に使用したアンテナか。

→事務局：標準ダイポールアンテナでも確認したが、値に差異はなかった。

- 7、8ページの「エリアシミュレーションとの比較」に書かれている、回線設計上の通話エリア（ $10 \mu \text{dBV}$ 以上）という値の根拠は何か。例えば陸上局の審査基準値を参考にしたというまとめ方が、報告書として根拠が残るのではないか。

→事務局：12ページ「机上検討」において、所要C/Nが得られるギリギリの受信電力から、約 $10 \mu \text{dBV}$ を出した。この計算で用いた外来雑音などの値は審査基準から持ってきたもので、全く根拠がないものではない。ただ、審査基準との関係が分かりづらい可能性があるので検討する。

4. 今後の進め方（事務局）

今後の検討課題、スケジュールについて事務局より説明。